Infectious Diseases Weekly Report
IDWR HIROSHIMA City
2021年第24週（6月14日～6月20日）

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1　新型コロナウイルス感染症

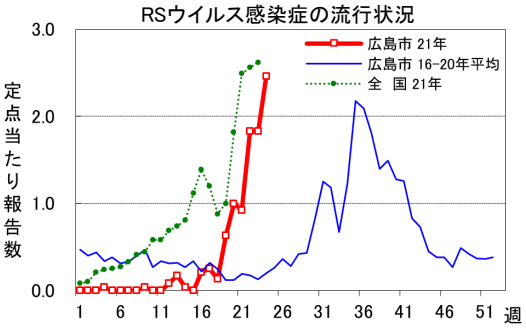
第24週に、116件の報告がありました。減少傾向が続いていますが、10万人当たりの1週間新規感染者数は、9.7人（6月21日発表）と広島県の警戒基準値（4.0人）を上回っています。

緊急事態宣言は6月20日で解除されましたが、広島県は、全県で安定的に警戒基準値を下回る水準を目指し、感染拡大防止集中対策を7月11日まで延長しました。引き続き、感染拡大防止対策を徹底しましょう。

2　RSウイルス感染症

定点当たり2.46人の報告があり、大幅に増加しています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

【参考】RSウイルス感染症Q&A（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html



3　腸管出血性大腸菌感染症

報告が増加しており、今年の累計は7件になりました。（次ページ参照）

■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均（注）	発生記号
インフルエンザ	インフルエンザ	－	－	0.01	
小児科	咽頭結膜熱	13	0.54	0.88	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	2.47	
小児科	感染性胃腸炎	78	3.25	5.17	⇔
小児科	水痘	1	0.04	0.52	
小児科	手足口病	1	0.04	2.65	
小児科	伝染性紅斑	－	－	0.32	
小児科	突発性発しん	11	0.46	0.41	
小児科	ヘルパンギーナ	－	－	1.12	
小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.24	
小児科	RSウイルス感染症	59	2.46	0.20	⇔
眼科	急性出血性結膜炎	－	－	－	
眼科	流行性角結膜炎	－	－	0.80	
基幹	細菌性髄膜炎	－	－	－	
基幹	無菌性髄膜炎	－	－	－	
基幹	マイコプラズマ肺炎	－	－	0.23	
基幹	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	－	－	－	
基幹	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	0.09	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1：2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1：1.5～2の増減
微増減	⇗	⇘	前週と比較しておおむね1：1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数（小児科定点を含む）	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）

■全数把握感染症報告状況（新型コロナウイルス感染症を除く）

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	50	70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	5	7	10歳未満・O157・1人、10歳代・O26・2人、30歳代・O157・1人、40歳代・O26・1人
4	レジオネラ症	2	17	60歳代、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	40歳代
5	梅毒	1	28	50歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	9	50歳代、70歳代

■定点把握感染症報告状況（週報対象）の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
報告数	広島市	第20週	−	11	11	162	3	1	−	8	−	−	24	−	−	−	−	−	−	−
		第21週	−	4	17	156	6	−	1	8	−	1	22	−	1	−	−	−	−	−
		第22週	−	17	12	132	3	2	−	12	−	1	44	−	−	−	−	−	−	−
		第23週	−	14	5	104	6	2	−	9	1	−	44	−	2	−	−	−	−	−
		第24週	−	13	8	78	1	1	−	11	−	2	59	−	−	−	−	−	−	−
定点当たり	広島市	第20週	−	0.46	0.46	6.75	0.13	0.04	−	0.33	−	−	1.00	−	−	−	−	−	−	−
		第21週	−	0.17	0.71	6.50	0.25	−	0.04	0.33	−	0.04	0.92	−	0.13	−	−	−	−	−
		第22週	−	0.71	0.50	5.50	0.13	0.08	−	0.50	−	0.04	1.83	−	−	−	−	−	−	−
		第23週	−	0.58	0.21	4.33	0.25	0.08	−	0.38	0.04	−	1.83	−	0.25	−	−	−	−	−
		第24週	−	0.54	0.33	3.25	0.04	0.04	−	0.46	−	0.08	2.46	−	−	−	−	−	−	−
	全国	第22週	−	0.40	0.63	3.56	0.12	0.08	0.02	0.45	0.09	0.06	2.56	−	0.19	0.02	0.01	0.04	−	−
		第23週	−	0.40	0.61	3.31	0.12	0.11	0.02	0.44	0.11	0.05	2.62	−	0.20	0.01	0.01	0.03	−	−

■広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況（確定日で集計）

【第24週（6月14日～6月20日）】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
3	8	9	3	21	21	23	18	10	―	116

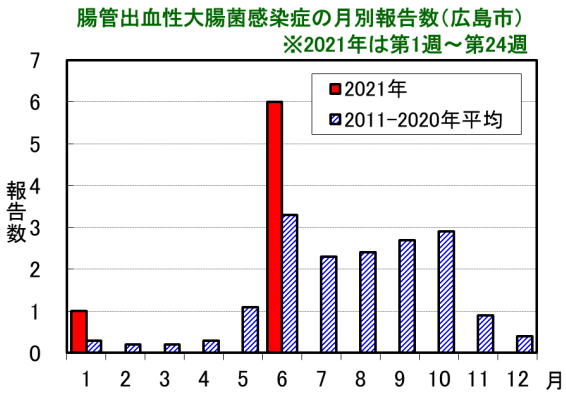
【累計報告数（6月20日現在）】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
268	526	1,751	1,114	1,158	1,000	684	596	460	67	7,624

「風邪かな？」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター（積極ガードダイヤル）TEL：082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

＊新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報（https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/）」からご確認ください。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！



腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、汚染された手指を通して少ない菌量でも感染します。

症状は、無症状から腹痛や水様性下痢、血便、溶血性尿毒症症候群（HUS）などの重篤な合併症を起こすものまで様々です。子どもや高齢者は重症化しやすいため、特に注意が必要です。

例年5月から10月にかけて報告数が多くなっていますので、肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の十分な洗浄をしましょう。また、排便後、食事の前、下痢をしている子どもや高齢者の排泄物の世話をした後などは、せっけんと流水で十分に手洗いをしましょう。

（参考）
・厚生労働省ホームページ　腸管出血性大腸菌感染症Q&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html
・広島市ホームページ　感染症情報／腸管出血性大腸菌感染症
https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-joho/263.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所　〒733-8650　広島市西区商工センター四丁目１番２号
TEL(082)277-6575　FAX(082)277-5666　E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp